

建築・土木分野

1. 分野の概要

建築・土木分野では、住宅、建築、都市、国土、そして地球環境に至るまでさまざまな生活空間の安全・安心および快適性を追求し、それを実現するための考え方や建築・空間デザイン技術、土木技術を学ぶ。本分野は次の2つのコースから構成されている。

・建築学コース

建築学コースは、建築における安全性や生活上の安心、そして快適な環境を実現するために、設計から施工まで総合的な技術力をもったエンジニアを育成する。

・土木工学コース

土木工学コースは、地球環境を考えたまちづくりを目指し、安全・安心、快適な生活を支えるための社会基盤を整備するエンジニアを育成する。

各コースはそれぞれ核となる専門科目で特徴を持ちながら、必要な関連した専門科目を共有している。1年次においては教養科目や概論科目、専門共通科目を中心に履修することによって幅広く工学技術者としての基礎的素養を身につける。2年次以降はいずれかのコースを選択し、分野専門科目、さらにコースの特徴を色濃く有したコース専門科目を履修していく。

建築・土木分野では、専門知識を基軸に幅広い教養と想像力、実践力を養うことによって、良好な生活環境を形づくることを通して社会に貢献できる人材を養成する。

なお各種資格についての詳細は、コース別に後述しているので参照されたい。

《建築学コース》

2-1. コースの概要

建築学コースは、建築構造、材料、施工、環境、設備、計画、デザインなどを学び、建築物が実現に至る技術を総合的に修得し、さらにこれらの専門知識を実務に応用できる能力を養う。また実験・実習を計画的に行い、その結果を分析・整理する能力や、建築工学や設計の知識を統合して課題を解決し、その成果をまとめる能力を養う。

2-2. 卒業要件

卒業要件として、教養科目32単位以上、専門科目80単位以上、合計124単位以上を修得しなければならない。卒業要件に関する内訳を、表2-1と表2-2に示す。

表2-1 教養科目の卒業要件

区分	卒業要件単位数	分野	内訳等
教養科目	4単位以上	建学の精神に関わる科目	
	8単位以上	人文・社会科学	
	8単位以上	自然科学	
	10単位以上	外国語	英語8単位以上を含む10単位以上。但し留学生は以下の要件とする。 「中級」：日本語4単位以上、英語4単位以上を含む計10単位以上※ 「初級」：日本語6単位以上、英語2単位以上を含む計10単位以上※
	2単位以上	健康・スポーツ科学	
	-	海外研修	
	-	教養ゼミ	

※日本語初級者と日本語中級者の判別は次を目安とする。
 中級：日本語能力試験のN1を取得、または日本留学試験の日本語の試験で「読解・聴解・聴読解」が300点以上かつ「記述」が40点以上
 初級：上の条件を満たさない場合

表2-2 専門科目の卒業要件（建築学コース）

分野等		要件 単位数	科目の内訳等				
			コース摘要	要件 単位数	科目名	単位数	配置 年次
専 門 科 目 計 80 単 位 以 上	概論科目群	4 単 位 以 上	概論科目群 選択必修科目	2 単 位 以 上	創生工学概論	2	1前
					建築・土木概論	2	1後
			概論科目群から自由選択				-
	専門共通科目群	15 単 位 以 上	専門共通科目群 選択必修科目	2 単 位 以 上	コンピュータリテラシー	2	1前
					コンピュータサイエンス入門	2	1後
			専門共通科目群 必修科目	10 単 位	課題研究	2	3後
					卒業研究A	4	4前
					卒業研究B	4	4後
	専門共通科目群から自由選択				-		
	分野、コース専門科目 (他分野の専門科目を含む)		コース必修科目	9 科 目 20 単 位	構造力学Ⅰ	3	2前
					建築材料基礎	2	2前
					建築計画Ⅰ	2	2前
					建築環境学Ⅰ	2	2前
					建築設計製図Ⅰ	2	2前
					構造力学Ⅱ	3	2後
建築施工					2	2後	
建築設備					2	2後	
建築設計製図Ⅱ					2	2後	
専門科目からの自由選択				-			

2-3. 卒業研究着手条件

卒業研究A及び卒業研究Bを履修するためには、卒業に必要な科目に関して、以下の項目を満足しなければならない。なお、編入生、転入生については、別に定める。

- (1) 教養科目を24単位以上修得していること。
- (2) 専門科目を64単位以上修得していること。
- (3) 専門共通科目群から、「課題研究」を修得していること。
- (4) 教養科目と専門科目を合計して98単位以上修得していること。

カリキュラムマップ
建築・土木分野専門科目(建築学コース)

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
概論科目	創生工学概論 機械概論 電気電子概論 システム情報概論 建築・土木概論	機械概論 電気電子概論 システム情報概論 建築・土木概論	Webデザイン 応用物理学I	応用物理学II 応用数学I 応用数学II	インターンシップ	知的財産関係法規 卒業研究A(4)	設備製図 構造製図 施工製図	
専門共通科目	フロンティアゼミ(1) コンピュータリテラシー コンピュータサイエンス入門					技術者倫理 情報化社会と情報倫理 課題研究	卒業研究B(4)	
分野専門科目 (建築学コース)		建築基礎製図(1)	建築設計製図I 建築計画I 建築環境学I 構造力学I(3)	建築設計製図II 建築計画II 歴史意匠 住居計画 建築設備 構造力学II(3)	建築設計製図III 都市設計 建築環境学II 環境デザイン学 鉄筋コンクリート構造 鉄骨構造 木質構造 防災工学	建築設計製図IV 建築基礎構造 建築材料 建築実験II 福祉環境学 建築数値解析		
(総合科目)		建築表現基礎	建築材料基礎	建築施工 建築法規	建築実験I	建築基礎構造 建築材料 建築実験II 福祉環境学 建築数値解析		建築・土木特別実習

必修科目
選択必修科目
選択科目
()内は単位数
記載のない科目は
2単位

学修・教育目標と科目の関係
建築・土木分野専門科目(建築学コース)

学修・教育目標	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
① 幅広い視野と技術者倫理の涵養	創生工学概論 機械概論 電気電子概論 システム情報概論 建築・土木概論	機械概論 電気電子概論 システム情報概論 建築・土木概論				技術者倫理 情報化社会と情報倫理	知的財産関係法規	
② コミュニケーション能力および表現力の涵養	建築基礎製図	建築基礎製図	建築設計製図I 建築設計製図II	建築設計製図III	建築設計製図III 建築実験I 建築実験II 建築土木特別実習	建築設計製図IV 建築実験II 建築土木特別実習	設備製図 構造製図 施工製図 卒業研究A	卒業研究B
③ 自然科学の理解	コンピュータリテラシー コンピュータサイエンス入門	Webデザイン 応用物理学I	応用物理学II 応用数学I 応用数学II	応用物理学II 応用数学I 応用数学II				
④ 専門知識の確実な修得と実務に応用できる能力の修得		建築計画I 建築環境学I 構造力学I 建築材料基礎	建築計画II 歴史意匠 住居計画 建築設備 構造力学II	建築計画I 建築環境学I 構造力学I 建築材料基礎	都市設計 建築環境学II 環境デザイン学 鉄筋コンクリート構造 鉄骨構造 木質構造 防災工学	建築構造力学 建築基礎構造 建築材料 福祉環境学 建築数値解折		
⑤ 積極性と自己学修の習慣		フレッシュマンゼミ	構造力学I	構造力学II			卒業研究A	卒業研究B
⑥ 知識を統合し計画的に作業を進める能力の育成					インターンシップ	課題研究	卒業研究A	卒業研究B

必修科目

選択必修科目

選択科目

2 - 4. 教育課程表

表2-3 建築・土木分野 建築学コース 専門科目教育課程表

区分	分野	授業科目	単位数	授業形態			年次及び週授業時間数								摘要※1	教職課程※5				
				講義	演習	実験実習	1年次		2年次		3年次		4年次			中一技術	高一工業	高一情報		
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
学 科 専 門 共 通 科 目 群	概論科目群	創生工学概論	2	○			2									概▲		◇		
		機械概論	2	○				2										◇	◇	
		電気電子概論	2	○				2										◇	◇	
		システム情報概論	2	○				2										◇	◇	
		建築・土木概論	2	○				2									概▲	◇	◇	
	専 門 共 通 科 目 群	フレッシュマンゼミ	1		○		2													
		コンピュータリテラシー	2	○			2										専共▲	◇	◇	◇
		コンピュータサイエンス入門	2	○			2										専共▲	◇	◇	◇
		Webデザイン	2	○					2											◇
		応用物理学Ⅰ	2	○						2										◇
		応用物理学Ⅱ	2	○							2									◇
		応用数学Ⅰ	2	○							2						※2			◇
		応用数学Ⅱ	2	○							2						※2			◇
		技術者倫理	2	○									2							◇
		インターンシップ	2			○											※3			
		情報化社会と情報倫理	2	○									2							◇
		知的財産関係法規	2	○										2						◇
		課題研究	2		○									2			◎			
		卒業研究A	4		○										4		◎			
		卒業研究B	4		○											4	◎			
		検定情報MWS	1														※4			
		検定情報MWE	2														※4			
		検定情報MES	1														※4			
		検定情報MEE	2														※4			
		検定情報MPP	1														※4			
		検定情報MAS	1														※4			
		検定情報MOL	1														※4			
		検定情報IIP	1														※4			
		検定情報ISG	1														※4			
		検定情報IFE	2														※4			
検定情報IAP	4														※4					
検定高度情報処理	6														※4					
分 野 専 門 科 目	建築・土木分野(建築学コース)	建築基礎製図	1			○	2												◇	
		建築設計製図Ⅰ	2			○			4								▲		◇	
		建築計画Ⅰ	2	○					2								▲		◇	
		建築環境学Ⅰ	2	○					2								▲		◇	
		構造力学Ⅰ	3	○	○				4								▲		◇	
		建築材料基礎	2	○					2								▲		◇	
		建築表現基礎	2	○					2										◇	
		水理学Ⅰ	3	○	○				4								※6		◇	
		測量Ⅰ	2	○					2								※6		◇	
		土木基礎実験	2			○			4								※6		◇	
		建築設計製図Ⅱ	2			○				4							▲		◇	
		建築計画Ⅱ	2	○					2										◇	
		歴史意匠	2	○					2		2						※2		◇	
		住居計画	2	○					2		2						※2		◇	
		建築設備	2	○					2		2						▲		◇	
		構造力学Ⅱ	3	○	○				4								▲		◇	
		建築施工	2	○					2		2						▲		◇	
		建築法規	2	○					2		2								◇	
		水理学Ⅱ	2	○					2		2						※6		◇	
		土質力学	3	○	○				4								※6		◇	
土木計画	2	○					2		2						※6		◇			
コンクリート材料	2	○					2		2						※6		◇			
測量Ⅱ	2	○					2		2						※6		◇			

2 - 5. 資格について

・ 建築士

建築学コースを卒業し、表2-4に示す指定科目の単位を修得することにより、1級建築士、2級建築士、木造建築士の受験資格を得ることができる。

(1) 1級建築士

「指定科目の分類」①～⑨についての「1級建築士 要件」に示す単位数を取得した上で、全分類から40単位以上を修得することにより、卒業後直ちに受験資格が得られる。なお、資格取得のための登録には、修得した単位数に応じた実務経験が必要となる。

(2) 2級建築士、木造建築士

「指定科目の分類」①～⑨についての「2級建築士 要件、木造建築士 要件」に示す単位数を修得した場合、卒業後直ちに受験資格が得られる。なお、資格取得のための登録には、修得した単位数に応じた実務経験が必要となる。

表2-4 建築士受験に必要な国土交通大臣の指定する建築に関する科目（指定科目）

指定科目の分類	授業科目名	必修選択	単位数	配置学年	1級建築士 要件		2級建築士 要件 木造建築士 要件	
① 建築設計製図	建築基礎製図	選択	1	1	7 単位以上		3 単位以上	
	建築設計製図Ⅰ	必修	2	2				
	建築設計製図Ⅱ		2	2				
	建築設計製図Ⅲ		2	3				
	構造製図	選択	2	4				
	施工製図		2	4				
	設備製図		2	4				
建築表現基礎	2		2					
② 建築計画	建築計画Ⅰ	必修	2	2	7 単位以上		2 単位以上	
	建築計画Ⅱ	選択	2	2				
	歴史意匠		2	2				
	住居計画		2	2				
③ 建築環境工学	都市設計		2	3	2 単位以上			
	建築環境学Ⅰ	必修	2	2				
	建築環境学Ⅱ	選択	2	3				
環境デザイン学	2		3					
④ 建築設備	建築設備	必修	2	2	2 単位以上			
⑤ 構造力学	構造力学Ⅰ	必修	3	2	4 単位以上			
	構造力学Ⅱ		3	2				
	建築構造力学	選択	2	3				
⑥ 建築一般構造	鉄筋コンクリート構造	選択	2	3	3 単位以上		3 単位以上	
	鉄骨構造		2	3				
	木質構造		2	3				
	防災工学		2	3				
	建築基礎構造		2	3				
⑦ 建築材料	建築材料基礎	必修	2	2	2 単位以上			
	建築材料	選択	2	3				
⑧ 建築生産	建築施工	必修	2	2	2 単位以上		1 単位以上	
⑨ 建築法規	建築法規	選択	2	2	1 単位以上		1 単位以上	
⑩ その他	建築・土木概論	選択必修	2	1				
	測量Ⅰ	選択	2	2				
	測量Ⅱ		2	2				
	測量実習Ⅰ		2	3				
	建築実験Ⅰ		2	3				
	建築実験Ⅱ		2	3				
	福祉環境学		2	3				
	建築設計製図Ⅳ		2	3				
建築数値解析	2		3					
受験資格に必要な単位数					40単位以上		20単位以上	
登録に必要な実務経験の年数 (試験合格前後の実務経験の合計)					60単位以上	2年	40単位以上	0年
					50単位以上	3年	30単位以上	1年
					40単位以上	4年	20単位以上	2年

・ 建築施工管理技士

建設業法により、卒業後、2級建築施工管理技士については実務経験1年以上で、1級建築施工管理技士については実務経験3年以上（「指導監督の実務経験」を1年以上含む）で、それぞれ受験資格が得られる。なお、2級建築施工管理技士に関しては、試験実施年度において満17歳以上の者であれば第一次検定のみを受験することができる。

・ 商業施設士（補）

建築学コースのカリキュラムは、商業施設士（補）資格制度に係る商業施設関連課程に認定されており、指定された教科目の単位を修得すれば、在学時に商業施設士（補）の受験資格が得られる。

・ 福祉住環境コーディネーター

福祉環境コーディネーター（2級、3級）は、在学時に受験することができる。建築学コースの分野専門科目として設置されている「福祉環境学」は、資格取得の支援関係科目である。

《土木工学コース》

3-1. コースの概要

土木工学コースは、構造力学、水理学、土質力学、土木計画、コンクリート材料、鉄筋コンクリート構造などの土木工学に関する専門知識の修得や、測量、施工管理など実務に応用する技術を修得し、地方産業に貢献できる人材として必要な能力を養う。また地域活動や情報収集を通して、土木工学の知識を統合する能力や、実験・実習を計画的に行い、その結果を解析・整理し、まとめる能力を養う。

なお、本コースは資格取得を推奨しており、カリキュラムに必要な科目が配置されている。

3-2. 卒業要件

卒業要件として、教養科目32単位以上、専門科目80単位以上、合計124単位以上を修得しなければならない。卒業要件に関する内訳を、表3-1と表3-2に示す。

表3-1 教養科目の卒業要件

区分	卒業要件単位数	分野	内訳等
教養科目	4 単位以上	建学の精神に関わる科目	
	8 単位以上	人文・社会科学	
	8 単位以上	自然科学	
	10 単位以上	外国語	英語8単位以上を含む10単位以上。但し留学生は以下の要件とする。 「中級」：日本語4単位以上、英語4単位以上を含む計10単位以上※ 「初級」：日本語6単位以上、英語2単位以上を含む計10単位以上※
	2 単位以上	健康・スポーツ科学	
	-	海外研修	
	-	教養ゼミ	

※日本語初級者と日本語中級者の判別は次を目安とする。
 中級：日本語能力試験のN1を取得、または日本留学試験の日本語の試験で「読解・聴解・聴読解」が300点以上かつ「記述」が40点以上
 初級：上の条件を満たさない場合

表3-2 専門科目の卒業要件（土木工学コース）

分野等	要件 単位数	科目の内訳等				
		コース摘要	要件 単位数	科目名	単位数	配置 年次
概論科目群	4 単位 以上	概論科目群 選択必修科目	2 単位 以上	創生工学概論	2	1前
				建築・土木概論	2	1後
		概論科目群から自由選択				
専門共通科目群	15 単位 以上	専門共通科目群 選択必修科目	2 単位 以上	コンピュータリテラシー	2	1前
				コンピュータサイエンス入門	2	1後
		専門共通科目群 必修科目	10 単位	課題研究	2	3後
				卒業研究A	4	4前
				卒業研究B	4	4後
専門共通科目群から自由選択					-	
分野、コース専門科目 (他分野の専門科目を含む)		コース必修科目	14科目 31単位	構造力学Ⅰ	3	2前
				水理学Ⅰ	3	2前
				測量Ⅰ	2	2前
				構造力学Ⅱ	3	2後
				土質力学	3	2後
				水理学Ⅱ	2	2後
				コンクリート材料	2	2後
				土木計画	2	2後
				数値処理	1	2後
				測量実習Ⅰ	2	3前
				鉄筋コンクリート構造	2	3前
				地盤工学	2	3前
				土木応用数学	2	3前
				交通計画	2	3後
専門科目からの自由選択					-	

3-3. 卒業研究着手条件

卒業研究A及び卒業研究Bを履修するためには、卒業に必要な科目に関して、以下の項目を満足しなければならない。なお、編入生、転入生については、別に定める。

- (1) 教養科目を24単位以上修得していること。
- (2) 専門科目を64単位以上修得していること。
- (3) 専門共通科目から、「課題研究」を修得していること。
- (4) 教養科目と専門科目を合計して98単位以上修得していること。

カリキュラムマップ
建築・土木分野専門科目(土木工学コース)

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
概論科目	創生工学概論 機械概論 電気電子概論 システム情報概論 建築・土木概論							
専門共通科目	フレッシュマンゼミⅠ コンピュータリテラシー コンピュータインテンス入門	Webデザイン 応用物理学Ⅰ 応用数学Ⅰ 応用物理学Ⅱ 応用数学Ⅱ			インターンシップ	技術者倫理 情報化社会と情報倫理 課題研究	知的財産関係法規 卒業研究A(4)	卒業研究B(4)
分野専門科目 (土木工学コース)		水理学Ⅲ 土質力学③ 土木計画 構造力学Ⅲ(3) コンクリート材料	水理学Ⅱ 土質力学③ 土木計画 構造力学Ⅲ(3) コンクリート材料		地盤工学 道路工学 土木構造力学 鉄筋コンクリート構造 コンクリート実験 土木施工 土木法規 一般火薬学と法令 測量実習Ⅰ 土木応用数学	上下水道工学 水理・土質実験 交通計画 土木設計製図		
(総合科目)		測量Ⅰ 土木基礎実験	測量Ⅱ 数値処理(1)			測量実習Ⅱ GIS(1)	土木CAD(1)	
						建築・土木特別実習		

必修科目
選択必修科目
選択科目
()内は単位数記載のない科目は2単位

学修・教育目標と科目の関係
建築・土木分野専門科目(土木工学コース)

学修・教育目標	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
① 幅広い視野と技術者倫理の涵養	創生工学概論 機械概論 電気電子概論 システム情報概論 建築・土木概論	機械概論 電気電子概論 システム情報概論 建築・土木概論				技術者倫理 情報化社会と情報倫理	知的財産関係法規	
② コミュニケーション能力および表現力の涵養		土木基礎実験			測量実習I コンクリート実験	測量実習II 水理・土質実験 土木設計製図 建築・土木特別実習	卒業研究A	卒業研究B
③ 自然科学の理解	コンピューターリテラシー	コンピューターサイエンス入門	Webデザイン 応用物理学I 応用数学I	応用物理学II 応用数学II				
④ 専門知識の確実な修得と実務に応用できる能力の修得			水理学I 構造力学I	水理学II 土質力学 土木計画 構造力学II コンクリート材料	地盤工学 道路工学 土木構造力学 鉄筋コンクリート構造 土木施工 土木法規 一般火薬学と法令 土木応用数学	上下水道工学 交通計画		
⑤ 積極性と自己学修の習慣	フレッシュマンゼミ		測量I 水理学I 構造力学I	測量II 土質力学 構造力学II 数値処理		GIS	土木CAD 卒業研究A	卒業研究B
⑥ 知識を統合し計画的に作業を進める能力の育成					インターンシップ	課題研究	卒業研究A	卒業研究B

必修科目
選択必修科目
選択科目

区分	分野	授業科目	単位数	授業形態			年次及び週授業時間数								摘要※1	教職課程※4											
				講義	演習	実験・実習	1年次		2年次		3年次		4年次			中一技術	高工業	高情報									
							前	後	前	後	前	後	前	後													
分野	専	門	科	目	建築・土木分野 (土木工学コース)	数値処理	1		○											▲			◇				
						建築設計製図Ⅲ	2			○						4							※6		◇		
						都市設計	2	○								2							※6		◇		
						建築環境学Ⅱ	2	○								2							※6		◇		
						環境デザイン学	2	○								2							※6		◇		
						鉄筋コンクリート構造	2	○								2							▲		◇		
						鉄骨構造	2	○								2							※6		◇		
						木質構造	2	○								2							※6		◇		
						防災工学	2	○								2							※6		◇		
						建築実験Ⅰ	2			○						4							※6		◇		
						地盤工学	2	○								2							▲		◇		
						道路工学	2	○								2									◇		
						土木構造力学	2	○								2									◇		
						コンクリート実験	2			○						4									◇		
						土木施工	2	○								2									◇		
						土木法規	2	○								2									◇		
						一般火薬学と法令	2	○								2									◇		
						測量実習Ⅰ	2			○						4								▲		◇	
						土木応用数学	2	○								2								▲		◇	
						建築設計製図Ⅳ	2			○								4						※6		◇	
						建築構造力学	2	○										2						※6		◇	
						建築基礎構造	2	○										2						※6		◇	
						建築材料	2	○										2						※6		◇	
						建築実験Ⅱ	2			○								4						※6		◇	
						福祉環境学	2	○										2						※6		◇	
						建築数値解析	2	○										2						※6		◇	
						上下水道工学	2	○										2							◇		
						水理・土質実験	2			○								4							◇		
						交通計画	2	○										2						▲		◇	
						土木設計製図	2			○								4							◇		
測量実習Ⅱ	2			○								4							◇								
GIS	1		○									2							◇								
設備製図	2			○									4					※6		◇							
構造製図	2			○									4					※6		◇							
施工製図	2			○									4					※6		◇							
土木CAD	1		○										2							◇							
建築・土木特別実習	2			○														※7			◇						

※1：◎：必修、概▲：概論科目群選択必修、専共▲：専門共通科目群選択必修、▲：コース必修、無印：選択
 ※2：隔年開講科目
 ※3：「インターンシップ」は、3年次の夏期休業期間中に実施する。
 ※4：単位の認定は別表の基準による。
 ※5：◇は、教職課程関係科目を示す。詳細は、「教職課程」の項目を参照すること。
 ※6：建築学コース専門科目
 ※7：認定科目

3 - 5. 資格について

・測量士、測量士補

測量法により、卒業要件に加えて「測量Ⅱ」および「測量実習Ⅱ」を修得した卒業生は測量士補の、卒業後1年以上の測量の実務経験で測量士の、それぞれ無試験登録申請資格が得られる。なお、測量士、測量士補試験は年齢や学歴、実務経験などに関係なく受験できる。

・1級土木施工管理技士、2級土木施工管理技士

建設業法により、卒業生は卒業後1年以上の土木施工管理の実務経験で2級土木施工管理技士の、3年以上の実務経験（そのうち1年は指導監督的な実務経験）で1級土木施工管理技士の、それぞれ受験資格が得られる。なお、2級土木施工管理技士（種別：土木）に関しては、満17歳以上の者であれば学科試験のみを受験することができる。また、土木施工管理技士と同様の条件で下表に示す各種の施工管理技士の受験資格も得られる。

種 目	1 級		2 級		
	実 務 経 験	種 別	実 務 経 験	卒業年度の学科試験の受験	
土 木 施 工 管 理	種目に関し指導監督的実務経験1年以上を含む3年以上	土 木	種別に関し1年以上	○	
		鋼構造物塗装		×	
		薬液注入		×	
建 築 施 工 管 理		建 築	種目に関し1年以上	○	
		軀 体		×	
		仕 上 げ		×	
電 気 工 事 施 工 管 理				種目に関し1年以上	○
管 工 事 施 工 管 理					○
造 園 施 工 管 理					○
建 設 機 械 施 工		第 1 種 第 6 種	種別に関する6月以上の実務経験を含む1年以上	×	